



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和3年5月28日

第3号



「1年生にいろいろなことを教えてあげられたけど、応援を大きな声ではっきりと言えなかったから次は頑張りたい」(応援団)

「よかった点は、走っているときに内側に入ったことです。改善点は、バトンをもらうときに手がぶれてしまったことです」(リレー)

校長 神田 敏之

運動会に向けてリレーや応援団の担当になった子どもたちは、休み時間を利用して練習に励んでいました。5月号の学校便りでも紹介しましたが、本校では今年度自己肯定感を高める活動の一つとして、「ふりかえり」を大切に考えています。この子どもたちにも当日までの過程の中で成長をしているところを自分で認識できるように一週間ごとにふりかえりを書く活動を行いました。

ふりかえりを充実させるためには具体的なめあてをもつことが大切です。めあてをもって、それに対してのふりかえりをしている応援団の子どもを紹介します。

セリフは覚えたので、声をもっと大きくしたりゆっくり言うなどしたり細かい部分を重点的に練習に挑みたいです。



ゆっくりできたし、細かい部分も覚えることができたのでよかったです。

今週中にみんなが自信をもってできるようにして、自分は応援団長の誓いの言葉をかんぺきにできるようにする。



けっこうみんなが自信をもてるようになって、自分もよくできるようになったので、あとはみんなの息があわないとできない所などをちゃんとタイミングをつかんでできるようにしたい。

すべての子どもが事前にめあてを立て、ふりかえりをしています。行事や前期、後期の節目にめあてとふりかえりを記入しファイルにつづっています。その他、教科学習やリーダー・イン・ミーの学習でもふりかえりを書いています。ふりかえりをするにより自分の成長を確かめ、その結果として「自分もなかなかやるな」という思いをもち、自己肯定感が高まることにつながります。保護者の方も振り返ったことに対して前向きな声掛けをお願いします。